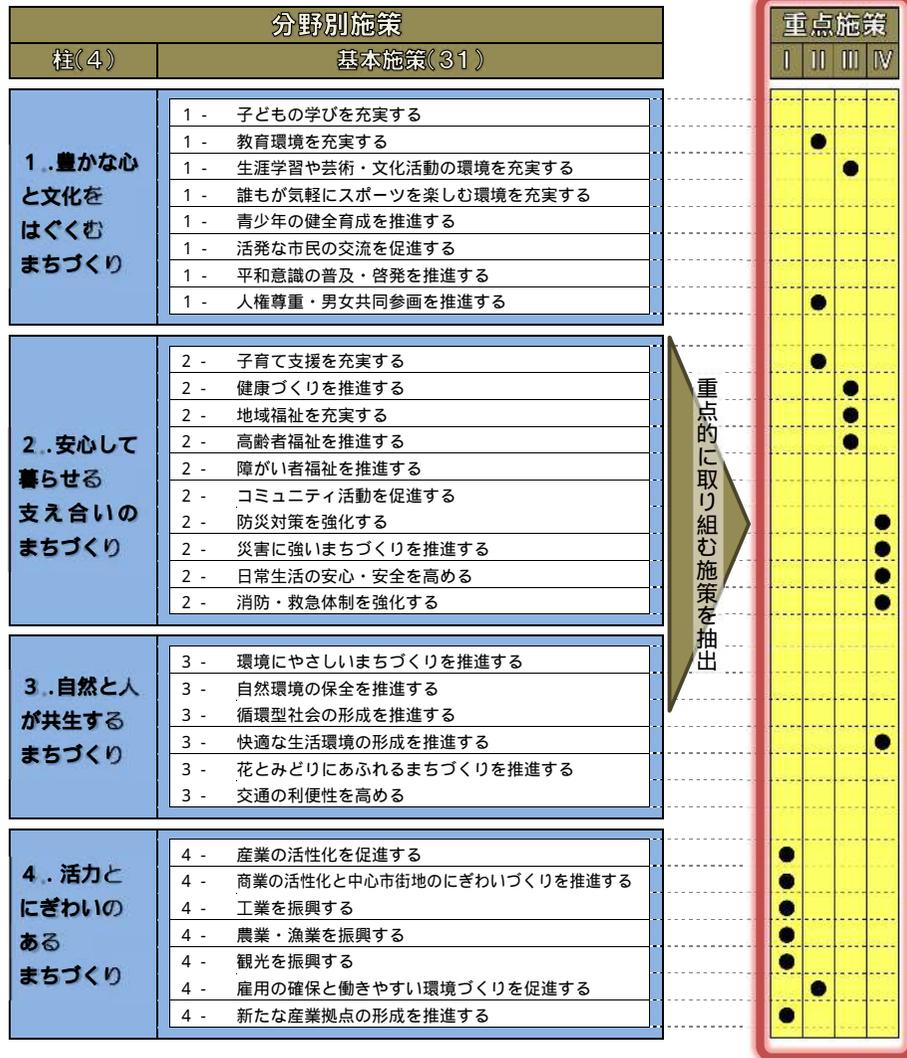
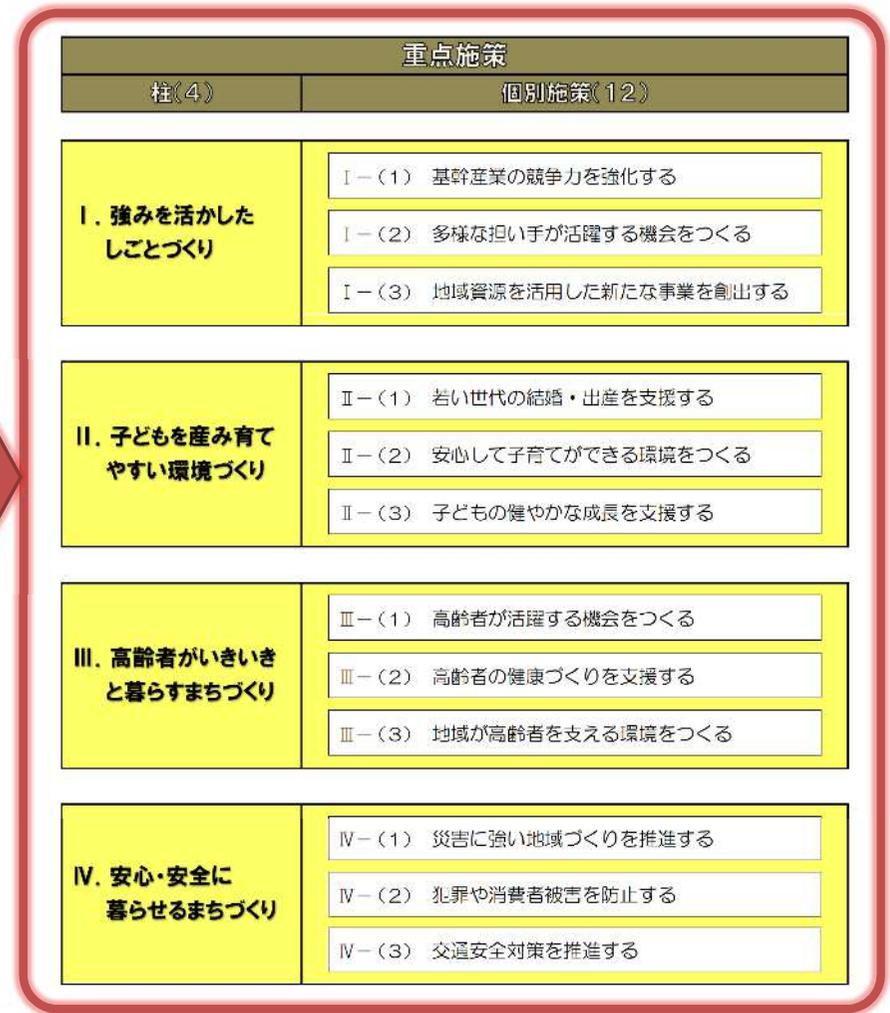


## 現行の重点施策

基本計画は、「子や孫へたしかな平塚をつなぐ」ために必要な、分野別施策と重点施策で構成しています。分野別施策は、4つの柱と31の基本施策で構成され、本市の市政運営を総合的に進めるための基本的な方向性となります。



重点施策は、分野別施策の中から重点的に取り組むものと位置付け、「選ばれるまち・住み続けるまち」へ向けた4つの重点課題である、「地域経済の活性化」「子育て支援」「超高齢社会への対応」「安心・安全なまちづくり」に対応する施策として、4つの柱と12の個別施策で構成しています。



# 重点施策 I

# 強みを活かしたしごとづくり

【関係部】産業振興部、都市整備部

## 基本的な方向性

人口減少がもたらす地域経済の縮小化を克服するため、域外から資金を取り込む「域外市場産業」と域内の資金の循環によって成り立つ「域内市場産業」のそれぞれをけん引していく企業、事業者を中心に支援し、地域経済の基盤となる産業を振興します。また、商業、工業、農業、漁業、観光の各産業がバランス良く発展している本市の強みを活かし、起業の促進や成長のための支援を行うとともに、産業間の連携を促進することで新たな事業の創出を目指します。

## 数値目標

指標名	現状値 (H26)	目標値 (H31)	目標値 (H35)
創業者数【年間】	9人	20人	22人
工場の新設や増築を行った企業数*1 【累計】	5件	20件	35件
農地利用集積面積【累計】	105ha	120ha	132ha
入込観光客数【年間】	707万人	736万人	740万人

## 個別施策

### I-(1) 基幹産業の競争力を強化する

基本的な方向性			
本市の基幹産業である製造業の設備投資や小売業等の個店の差別化、特色を活かした商店街づくりへの支援を行うとともに、新たな産業集積の機会を活かし、雇用拡大や経営強化、規模拡大を促します。また、事業者の新製品や新技術の開発につながる共同研究を支援するとともに、販路拡大に向けた取組を進めます。			
重要業績評価指標 (KPI)	現状値 (H26)	目標値 (H31)	目標値 (H35)
事業拡大や新技術・新商品等の相談・紹介件数【年間】	44件	50件	55件
魅力化実施店舗数【累計】	10店舗	50店舗	82店舗
主な取組			
<ul style="list-style-type: none"><li>● 企業の施設整備や新規雇用に対する支援</li><li>● 企業の共同研究や海外展開に向けた支援</li><li>● 販路拡大や産学公の連携強化の支援</li><li>● 魅力的な個店や商店街づくりのための支援</li><li>● ツインシティ整備の推進</li></ul>			

\*1：平塚市企業立地促進補助金交付要綱に基づく助成措置を承認した件数

## Ⅰ-(2) 多様な担い手が活躍する機会をつくる

基本的な方向性			
<p>起業家に対して、創業から経営安定に至る一連の取組を充実させます。また、各産業の新たな担い手に対して、関係機関と連携しながら、事業展開ができる環境を拡充します。さらに、新規成長分野に取り組む事業者に対して、技術革新等の誘発を図り、事業や雇用機会の拡大につなげます。</p>			
重要業績評価指標（KPI）	現状値（H26）	目標値（H31）	目標値（H35）
創業支援件数【年間】	93件	180件	200件
新たな農の担い手数【累計】	8人	38人	62人
主な取組			
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 起業家や担い手（農業者・商業者）の育成支援</li> <li>● 中小企業者に対する販路開拓の支援や融資・経営改善の相談</li> <li>● 企業や大学の強みを活かした技術革新等の誘発</li> </ul>			

## Ⅰ-(3) 地域資源を活用した新たな事業を創出する

基本的な方向性			
<p>各産業がバランス良く発展している強みを活かし、分野横断的なネットワークを活用した支援により農商工連携や6次産業化を推進するとともに、観光も活用した地域資源を情報発信することで販路拡大を図り、本市産業のさらなる活性化と新たな事業につなげます。</p>			
重要業績評価指標（KPI）	現状値（H26）	目標値（H31）	目標値（H35）
産業間連携による新事業支援件数【累計】	4件	29件	49件
市外の観光キャンペーン等への参加回数【年間】	10回	15回	20回
主な取組			
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 産業間の連携の場の創出</li> <li>● 新事業の創出や商品開発と販路拡大の支援</li> <li>● 観光を活用した地場製品の普及・啓発の推進</li> </ul>			

# 重点施策Ⅱ

# 子どもを産み育てやすい環境づくり

【関係部】産業振興部、市民部、健康・こども部、学校教育部、市民病院

## 基本的な方向性

周産期医療や小児救急医療の充実を図るとともに、分娩取扱医療施設を整備することで、安心して出産・子育てができる環境づくりを目指します。また、結婚や出産後も継続した就労ができるように仕事と生活の調和を促進し、子育てにかかる負担を軽減するとともに、地域や学校での子どもの成長の支援や見守りを通じて、子どもが安心して暮らせる環境づくりを目指します。

## 数値目標

指標名	現状値（H26）	目標値（H31）	目標値（H35）
合計特殊出生率	1.32	1.42	1.51

出典：人口動態保健所・市区町村別統計（厚生労働省）

## 個別施策

### Ⅱ-（１）若い世代の結婚・出産を支援する

基本的な方向性			
結婚や出産の希望をかなえるために、経済的な安定を支援し、若いうちに子どもを育てることができるようにするとともに、乳幼児を持つ家庭への訪問、相談事業など、妊娠・出産・育児期における不安の軽減を図り、切れ目のない支援を行います。			
重要業績評価指標（KPI）	現状値（H26）	目標値（H31）	目標値（H35）
乳児家庭全戸訪問の訪問率【年間】	93.3%	95.4%	97.0%
産科・小児科（周産期）の救急受診患者の受入数【年間】	2,068人	2,150人	2,300人
妊婦健診の受診率【年間】	95.5%	96.9%	98.0%
主な取組			
<ul style="list-style-type: none"><li>● 妊婦・乳幼児の健診や相談事業などの実施</li><li>● 就職に向けた活動の支援やワーク・ライフ・バランスに取り組む企業への支援</li><li>● 周産期医療の充実と分娩取扱医療施設の整備</li></ul>			

## II-(2) 安心して子育てができる環境をつくる

基本的な方向性			
安心して子育てができるようにするため、保護者の仕事と育児の両立を支援するとともに、経済的な負担感の軽減を図ります。			
重要業績評価指標（KPI）	現状値（H26）	目標値（H31）	目標値（H35）
保育園等の待機児童数	0人	0人	0人
放課後児童クラブの受入可能児童数	1,127人	1,466人	1,622人
主な取組			
<ul style="list-style-type: none"> <li>● ファミリーサポートセンターの運営</li> <li>● 保育所等の運営・施設整備への助成</li> <li>● 幼児教育・保育の一体的な提供</li> <li>● 放課後児童クラブの設置</li> <li>● 子どもの通院・入院時の医療費の助成</li> <li>● 小児救急医療の充実</li> </ul>			

## II-(3) 子どもの健やかな成長を支援する

基本的な方向性			
地域・保育所・学校において、育児支援、学習支援・施設整備、相談しやすい環境を整え、子どもの成長につながる機会・体制を充実します。			
重要業績評価指標（KPI）	現状値（H26）	目標値（H31）	目標値（H35）
子育て支援センター・つどいの広場の利用者数【年間】	57,138人	65,000人	67,000人
介助員数	76人	85人	91人
主な取組			
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域子育て支援拠点事業の推進</li> <li>● 子どもの相談・生活助言・学習支援や適切な支援へのつなぎ</li> <li>● 学校施設の改修による学習環境の改善</li> </ul>			

# 重点施策Ⅲ

# 高齢者がいきいきと暮らすまちづくり

【関係部】福祉部、健康・こども部、社会教育部

## 基本的な方向性

いつまでも生きがいを持ち、健康な状態を維持した高齢者を増やす取組を推進するとともに、認知症や独居の状態になっても地域で支え合い、安心した生活を営めるような環境づくりを目指します。

## 数値目標

指標名	現状値（H26）	目標値（H31）	目標値（H35）
要介護認定を受けていない市民の割合（75歳～79歳）	90.3%	90.8%	91.0%
高齢者サロンの参加者数【年間】	43,507人	61,000人	75,000人

## 個別施策

### Ⅲ-（１）高齢者が活躍する機会をつくる

基本的な方向性			
長年培った技術や知識を活用できるよう、生涯学習や地域活動、ボランティア活動など、様々な形で高齢者の社会参加や地域貢献を支援し、高齢者が生きがいを持ち、社会でいきいきと活躍できる機会を創出します。			
重要業績評価指標（KPI）	現状値（H26）	目標値（H31）	目標値（H35）
地域で奉仕活動等を行っている高齢者の数【年間】	—	14,000人	27,000人
町内福祉村ボランティア登録者数	1,563人	2,100人	2,500人
地区公民館の地域人材講師の登録件数	104人	350人	390人
主な取組			
<ul style="list-style-type: none"><li>● 高齢者の奉仕活動や地域貢献活動の支援</li><li>● 住民相互の支え合いや交流活動の活性化の支援</li><li>● 地域の人材発掘やボランティアの育成・活用</li></ul>			

### III-(2) 高齢者の健康づくりを支援する

基本的な方向性			
<p>高齢期になっても介護を必要とせず、健康な心と身体を維持できるような取組を実施します。また、早期から自分の身体に対する関心を高める取組を行い、心も身体も健康な状態を維持できるような取組を進めます。</p>			
重要業績評価指標（KPI）	現状値（H26）	目標値（H31）	目標値（H35）
健康チャレンジリーダー養成者数【累計】	—	100人	180人
主な取組			
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 健康長寿に向けた取組の支援</li> <li>● 早期の健康意識の啓発</li> </ul>			

### III-(3) 地域が高齢者を支える環境をつくる

基本的な方向性			
<p>高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、地域住民や地元企業など、地域の多様な主体の自主的な活動を支援するとともに、医療機関や介護事業所をはじめとした関係機関の連携を推進し、地域全体で高齢者を支える環境をつくります。</p>			
重要業績評価指標（KPI）	現状値（H26）	目標値（H31）	目標値（H35）
地域包括ケアシステムが構築されている地区数 <sup>*1</sup>	1地区	6地区	13地区
認知症サポーター養成者数【累計】	10,252人	13,800人	16,600人
成年後見制度出張講座等参加者数【累計】	270人	2,270人	3,870人
主な取組			
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域包括ケアシステムの構築</li> <li>● 認知症高齢者等に対する支援策の充実</li> <li>● 成年後見制度の利用支援や普及・啓発の推進</li> </ul>			

\*1：高齢者よろず相談センター（地域包括支援センター）圏域の地区

# 重点施策Ⅳ

# 安心・安全に暮らせるまちづくり

【関係部】防災危機管理部、市民部、まちづくり政策部、土木部、消防本部

## 基本的な方向性

地域の防災・防犯・交通安全活動を支援します。また、災害の被害を最小限に抑えるために、建築物の耐震化や浸水対策等の減災・防災対策に取り組むとともに、犯罪や消費者被害の防止及び交通安全対策を推進することで、安心・安全なまちづくりを目指します。

## 数値目標

指標名	現状値（H26）	目標値（H31）	目標値（H35）
地域団体等が実施する防災訓練数【年間】	302回	332回	356回
床上浸水が発生している重点対策地区数【年間】	7地区	0地区	0地区
窃盗犯の発生件数*1【年間】	981件	880件	780件
交通事故の発生件数【年間】	1,265件	970件	790件

## 個別施策

### Ⅳ-（１）災害に強い地域づくりを推進する

基本的な方向性			
地域住民や地域住民により組織された防災関係団体と行政が協働し、防災意識を高め、自助・共助・公助の連携により災害から身を守ることができる地域づくりを推進します。			
重要業績評価指標（KPI）	現状値（H26）	目標値（H31）	目標値（H35）
防災活動事例の紹介件数*2【年間】	50件	70件	90件
保存食の種類数*3	3種類	6種類	8種類
総合浸水対策重点地区の整備進捗率【累計】	5%	100%	100%
主な取組			
<ul style="list-style-type: none"><li>● 自助・共助・公助の連携などによる地域の減災対策推進</li><li>● 総合的な浸水対策の推進</li><li>● 橋りょうなどのインフラ施設の耐震化の推進</li><li>● 建物の耐震化の促進</li><li>● 地域と連携した消火体制の強化</li></ul>			

\*1：空き巣、忍び込み、居空き、オートバイ盗、自転車盗、ひったくりの発生件数

\*2：先駆的な防災活動の取組事例を地域団体等へ紹介した件数

\*3：高齢者など多様な避難者のニーズや避難生活状況に配慮した保存食の種類数

## IV-(2) 犯罪や消費者被害を防止する

基本的な方向性			
<p>地域住民が主体となった組織の取組を支援し、防犯意識を高めるとともに、犯罪が起きにくい地域づくりを進めます。また、消費生活に関する情報を提供し、消費者被害の未然防止を図るとともに、消費者トラブルの救済に向けた取組を進めます。</p>			
重要業績評価指標（KPI）	現状値（H26）	目標値（H31）	目標値（H35）
市と関係団体による防犯活動数【年間】	13回	22回	26回
消費生活相談において消費者自らが相手方と交渉できるよう助言した件数の割合	75%	82%	85%
主な取組			
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域防犯活動や防犯設備の充実</li> <li>● 安全な消費生活の普及啓発や消費生活相談の推進</li> </ul>			

## IV-(3) 交通安全対策を推進する

基本的な方向性			
<p>事故から身を守ることができるよう、交通ルールの遵守や自転車マナーの向上を図り、市民の交通安全意識を高めるとともに、日常の移動手段として多くの人に利用されている自転車の安全な走行環境をつくります。</p>			
重要業績評価指標（KPI）	現状値（H26）	目標値（H31）	目標値（H35）
交通安全教室の開催数【年間】	200件	210件	210件
平塚駅3km圏の自転車ネットワーク整備率【累計】	3%	33%	70%
主な取組			
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 交通安全対策の推進</li> <li>● 自転車を利用しやすい環境づくり</li> </ul>			